

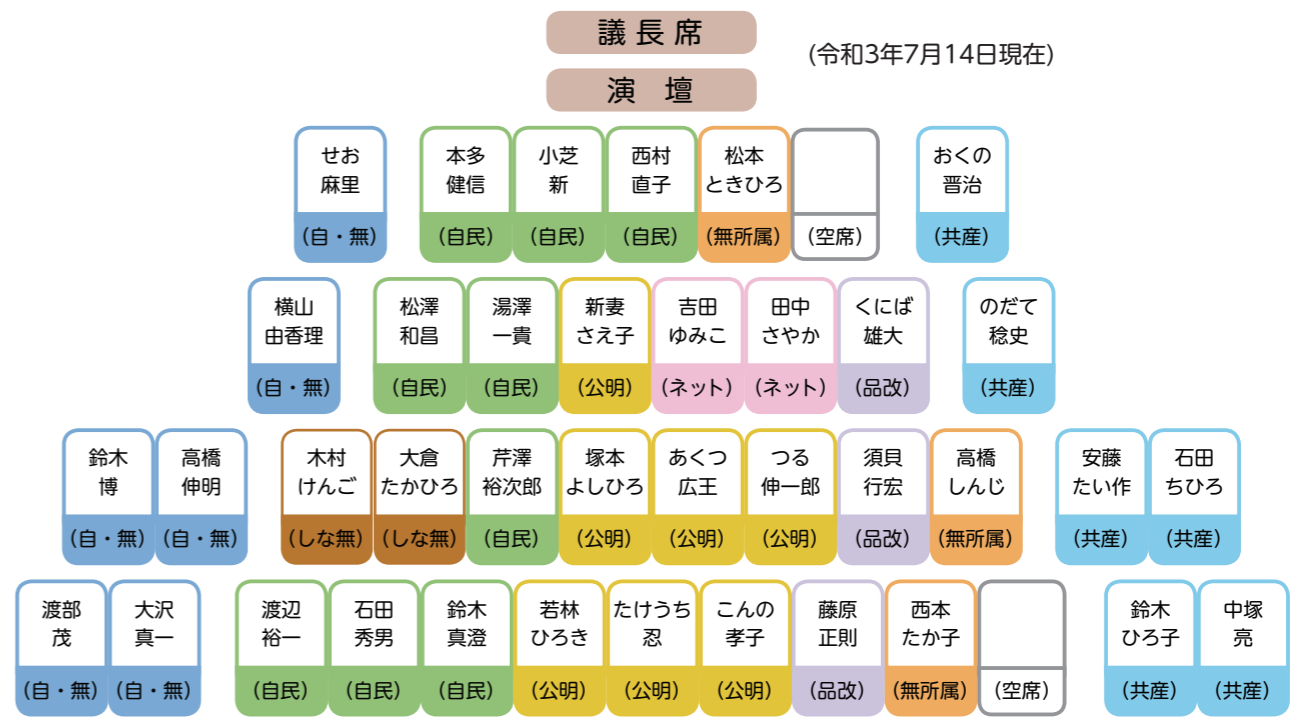
区政をきく (一般質問)

令和3年第2回定例会では、区政全般について、10名の議員が一般質問を行いました。以下、概要をお知らせします。

一般質問	
6月23日(水)	安藤 たい作 議員 (共産)
	鈴木 真澄 議員 (自民)
	吉田 ゆみこ 議員 (ネット)
	こんの 孝子 議員 (公明)
高橋 伸明 議員 (自・無)	
6月24日(木)	
湯澤 一貴 議員 (自民)	
たけうち 忍 議員 (公明)	
鈴木 博 議員 (自・無)	
木村 けんご 議員 (しな無)	
松本ときひろ 議員 (無所属)	

本会議における発言の際はマスクを着用することとしておりましたが、令和2年第2回定例会本会議より、議長席および演壇においてはアクリル製飛沫防止パネルを設置し、マスクを外しての発言を可能としました。

本会議場の議席配置が変わりました



党派	議員
(自民)	品川区議会自民党
(公明)	品川区議会公明党
(自・無)	自民・無所属・子ども未来
(共産)	日本共産党品川区議団
(品改)	品川改革連合
(ネット)	品川・生活者ネットワーク
(しな無)	しながわ無所属クラブ
(無所属)	会派に属さない無所属の議員

安藤 たい作 議員 (共産)



問 ワクチン、大規模検査、十分な補償などコロナ収束に集中を、感染リスクを広げ国民の命を危険にさらす東京五輪は中止を

答 人の命よりオリンピック・パラリンピックを優先するのは間違い。国と都に五輪の中止を求めよ。

問 区民の安全・安心を担保しながら、都や組織委員会と連携して大会を成功させることが区の役割。中止を求める考えはない。

問 求めてきた在宅接種の具体化が進まない理由は。

答 医師会と協議を重ね、訪問接種医が接種できるような体制を整えた。

問 巨額な無駄遣いの補助29号線・放射2号線道路は廃止し、買収用地は切実な特養ホーム、障害者グループホーム、認可保育園に転用を

答 29号線の買収用地は、五百㎡以上

鈴木 真澄 議員 (自民)



問 固定化回避検討会が示す案は全て品川区の上を飛ぶことになると思うが、いかがか。

答 防災性向上と交通円滑化の観点から重要な道路。都に対し廃止や用地の転用を求める考えはない。

問 固定化回避検討会は区民をわざわざのルートは中止を

答 固定化回避検討会が示す案は全て品川区の上を飛ぶことになると思うが、いかがか。

問 住民を追い出し開発企業の利益を優先する大崎西口駅前地区・品川駅南地区の超高層再開発は撤回を

答 北品川・東品川665戸の都営住宅を再開発でなくさないよう求める。なぜ必ず残すと言えないのか。

問 都営住宅は東京都の施策の範疇なので、東京都と調整がなされるべきもの。

問 (その他の質問)

・陥没事故で大深度の安全神話は崩れた 次世代への負の遺産、リニア新幹線は今こそ中止を求めよ

福祉について

問 コロナ収束後の品川区について 高齢者へのワクチン接種状況、在宅で外出の難しい高齢者、障害者への接種方法は。

答 7月末には高齢者の接種が完了できる見込み。在宅療養者は訪問診療医が訪問にて接種、障害者の方は施設でまとまって接種など検討。

問 区政運営について 長期基本計画の実施計画の策定は、コロナ禍により引続き中断しているのか。10年の計画をストップさせず政策形成が必要。

答 実施計画の策定作業を再開。長計の実現は重要であり、具体的な指針として全庁的に検討を進める。

問 減少に転じた区内人口の傾向をどう判断するか。

答 令和2年9月以降減少傾向。人口動向は行財政運営に大きな影響を及ぼす。把握と分析に努める。

問 福祉について 高齢者福祉は重要な政策。重層的支援体制整備に向けた検討状況を。昨年度より庁内検討を開始し、今年度は課題の抽出や連携の仕組みなどの検討をする。

問 介護予防の充実と財政面は。介護予防サービスを効果的・効率的に展開し安定した運営に努める。

問 障害児者総合支援施設の、来年10月からの指定管理者が選定された。スムーズな引継ぎ、利用者が、戸惑いや、変化が生じない体制が必要。現・新管理者間で早く調整を。

問 令和4年4月以降を引継ぎ期間とし、次期・現指定管理者の職員と一緒に支援に入る予定。利用者に混乱が生じないよう、計画的に円滑な引継ぎを行う。

問 広町地区のまちづくりについて 計画は多様な都市機能を備え、駅に直結し、人の流れが地区内で完結してしまう。デッキ側に造られる新店舗と商店街との連携、大井町駅中央口側への歩行者の回遊は、地区外に回遊できるよう計画しているが、地域の意見を聞き、さらなる回遊性の向上をめざし関係者と検討を進める。